

Release Note : 更新履歴ソフトウェア名: V-Xgenチーム名: 機能情報シミュレーションチーム

Version	新機能	改良点 (バグ修正等)	既知の問題 (バグ情報等)
1.3.5	・	・ ボクセライゼーション機能で, 2bit+6bit 型の SBX ファイルが正しく出力されない問題を修正.	
1.3.4	・	・ Octreeメソッドでのボクセライゼーション機能で, 8bit MediumのSBXファイルに出力すると, 6bit MediumのSBXファイルとして保存される問題を修正.	
1.3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ HIFU 計算ボリュームの回転並進ダイアログを追加. ・ V-Cat データファイルから SBX 形式, SPH 形式への変換機能を追加. ・ HIFU 生体データとして取り扱うデータ形式に SBX データと SPH データを追加. ・ HIFU 計算ボリュームへの生体データ転写, ファイル出力の方法を修正. ・ 水密化機能の処理を高速化. ・ V-Cat データのインポート時に, Z 軸方向を自動的に反転させる機能を追加. 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Voxelizationダイアログ表示の際に, ガイドボックスとグリッドの表示を自動的にONにするように変更. ・ VoxelizationダイアログのSVタブで, Resolution領域を操作した後Fitting機能が正しく機能しない問題を修正. ・ ボリュームデータのマージ操作を行った後, ボリュームデータの削除を実行すると, V-Xgenがクラッシュする場合があります問題を修正. ・ カットプレーン機能で, 回転中心を変更すると切断位置がずれる問題を修正. ・ Windows Vista 環境で, ボリュームレンダリングを行うとアプリケーションがクラッシュする問題を修正. 	
1.3.2	・	<ul style="list-style-type: none"> ・ 形状の面が格子に平行な場合のボクセライゼーションの堅牢性を改良. ・ ボクセライゼーションダイアログの仕様を一部修正. <ul style="list-style-type: none"> ➤ Resolution領域を設定した際に, Coordinate Space 	

		<p>領域の数値が不必要に調整される問題を修正.</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ VoxelizationメニューのSV系メニュー項目を選択した際に, Coordinate Space領域, Resolution領域およびVoxelization領域が展開された状態で表示されるよう変更. ➤ Dilate/Erode a layerボタンの名称をExpand/Shrink one layerに変更. <p>・ オブジェクト名/ボリューム名に '&', '<', '>' が含まれていると, 不正なXMLファイルが生成される問題を修正.</p>	
1.3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボクセラライゼーション領域のマウスによる変更機能を実装. ・ Voxelization properties ダイアログの Adjustment in Index Space 領域に, Dilate/Erode a layer ボタンを追加. ・ Voxelization properties ダイアログの Adjustment in Index Space 領域に数値を入力した際に GFX ビュー上でサイズ調整する領域を点線で表示する機能を実装. 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	
1.3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水密化機能を追加. ・ SPH ファイルをボリュームデータとして入力する機能を実装. ・ Octree 手法による Voxelization 機能に, 面積率を計算する機能を追加. ・ line width プロパティを追加. 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	
1.2.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ View, Object, Volume の各メニュー構成を, カテゴリ別に再構成. ・ データクリーナ(V-Xdc)の機能を統合. <ul style="list-style-type: none"> カットプレーン機能 ポリゴンフィックス機能 ポリゴンリダクション機能 ・ ポリゴンリダクションモジュール vpr_implicit をパッケージに追加. 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Voxelization propertiesダイアログの, ReferenceRatio欄の表示の不具合を修正. ・ HIFU/Transcription 機能で, SPH 出力および分割出力に関する不具合を修正. ・ 一部のLinux AMD64プラットフォームにおいて, テキスト入力ダイアログを表示するとプログラムがクラッシュする問題 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Wavefront Obj データを単一のオブジェクトデータとして扱うように変更し、ファイル単位でのオブジェクトデータ編集管理機能を実装. ・ ボリュームマージ機能を改変. <ul style="list-style-type: none"> 複数のマージ・ソース指定に対応. マージ条件に体積占有率の範囲指定機能を追加. Mediumのマージ方法にAscending, Descending, Conflictを追加 体積占有率のマージ方法にLimit Range指定機能を追加. 体積占有率のサンプリング方法にTri-Linear補間を追加. マージ・デスティネーションのボリュームデータの領域拡張機能を追加. V-Catデータへのマージ機能を、マージ対象/除外マスク番号指定方式に変更. ・ Voxelization propertiesダイアログに、Fitting機能を追加. ・ HIFU/Transcription機能で、SPH出力点をセル中心/節点の選択機能を追加. 	<p>に対応.</p>	
1.1.6		<ul style="list-style-type: none"> ・ 分割数の小さいSVデータをボリュームレンダリングすると、不正な表示になる問題を修正. 	
1.1.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計算ボリュームの生成機能を追加. ・ ラスタライズ時の出力データ指定ダイアログに、SBX データタイプの指定機能および陰関数パラメータの設定機能を追加. 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Mediumダイアログの画面と操作方法を修正. ・ Materialダイアログの画面と操作方法を修正. 	
1.1.4		<ul style="list-style-type: none"> ・ SDFデータをSPHファイルに出力する際に、設定した値より1セル分小さい領域で出力される問題を修正. ・ expand機能を2DのSVX/SBXデータにも対応するよう修正. 	
1.1.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ Voxelization properties ダイアログを試験実装. 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	
1.1.2		<ul style="list-style-type: none"> ・ XMLファイルの<volume>グのmethod属性の省略時の値を変更. 	

1.1.1		<ul style="list-style-type: none"> ・ ポリユームマージ実行時に, 特定の条件でグラムがクラッシュする問題を修正. ・ ポリユームExpand実行後に, UIパネルの情報が更新されない問題を修正. 	
1.1.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライト設定機能を追加 ・ 表示ノーマライズ機能にターゲット設定機能を追加 ・ SBXフォーマットをサポート ・ V-Catフォーマットをサポート ・ ポリユームレンダリング表示機能を実装 ・ ポリユームデータのマージ機能を実装 ・ 媒質リスト機能を実装 ・ Brute Forceラスタライズ時にマテリアルを考慮した媒質を設定するよう変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・ GFXビューのbehaviorプロパティ機能のバグを修正 	
1.0.4	既存 HP サイト(ソフトウェア概要・特徴・動作環境)参照	—	—